

A grayscale background image showing industrial machinery, likely a lathe or similar metalworking equipment, with various metal parts and tools visible.

2026年3月期 第3四半期

(2025年4月1日 ~ 2025年12月31日)

# 決算補足資料

2026年2月6日

**ENOMOTO Co.,Ltd.**

東証スタンダード 証券コード:6928

- (1) 2026年3月期第3四半期決算 P.3
- (2) 2026年3月期業績予想 P.9

# (1) 2026年3月期第3四半期決算



- ・ オプト用リードフレームのハイエンドLED向け、コネクタ用部品のスマートフォン向けを中心に増収
- ・ パワー半導体用リードフレームは車載が回復傾向。民生・産機向けは調整局面が継続
- ・ 利益面では、工場稼働率の改善やメッキの内製化効果により収益力が向上

単位:百万円	2024/3期 3Q累計		2025/3期 3Q累計		2026/3期 3Q累計		期比較
	実績	売上比(%)	実績	売上比(%)	実績	売上比(%)	前期比(%)
売上高	19,190	100.0	20,336	100.0	22,410	100.0	+10.2
売上総利益	2,095	10.9	2,529	12.4	3,253	14.5	+28.6
販管費	1,854	9.7	1,914	9.4	1,958	8.7	+2.3
営業利益	240	1.3	614	3.0	1,294	5.8	+110.6
為替差損益	△12	-	△20	-	19	0.1	-
経常利益	279	1.5	696	3.4	1,390	6.2	+99.8
当期純利益	117	0.6	410	2.0	979	4.4	+138.5

- ・ オプト用リードフレーム、コネクタ用部品を中心に前期から増収継続し、四半期売上高は順調に回復
- ・ スマートフォンの最新モデル向け好調、ハイエンドLED向けも順調に増加
- ・ 工場稼働率の上昇やメッキ内製化による収益力の向上により前年同期比、2Q比ともに大幅な増益

単位:百万円	2025/3期					2026/3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	前同比(%)	2Q比(%)
売上高	6,506	6,912	6,917	6,543	26,880	7,146	7,505	7,758	+12.2	+3.4
売上総利益	749	902	877	617	3,147	940	1,069	1,242	+41.6	+16.2
販管費	645	648	620	614	2,528	629	651	677	+9.2	+4.1
営業利益	104	253	256	3	618	311	418	565	+120.0	+35.0
為替差損益	5	△61	35	△45	△65	12	0	5	-	+482.4
経常利益	135	228	332	△26	669	336	474	579	+74.5	+22.1
四半期純利益	47	223	140	37	447	263	325	390	+178.3	+19.9

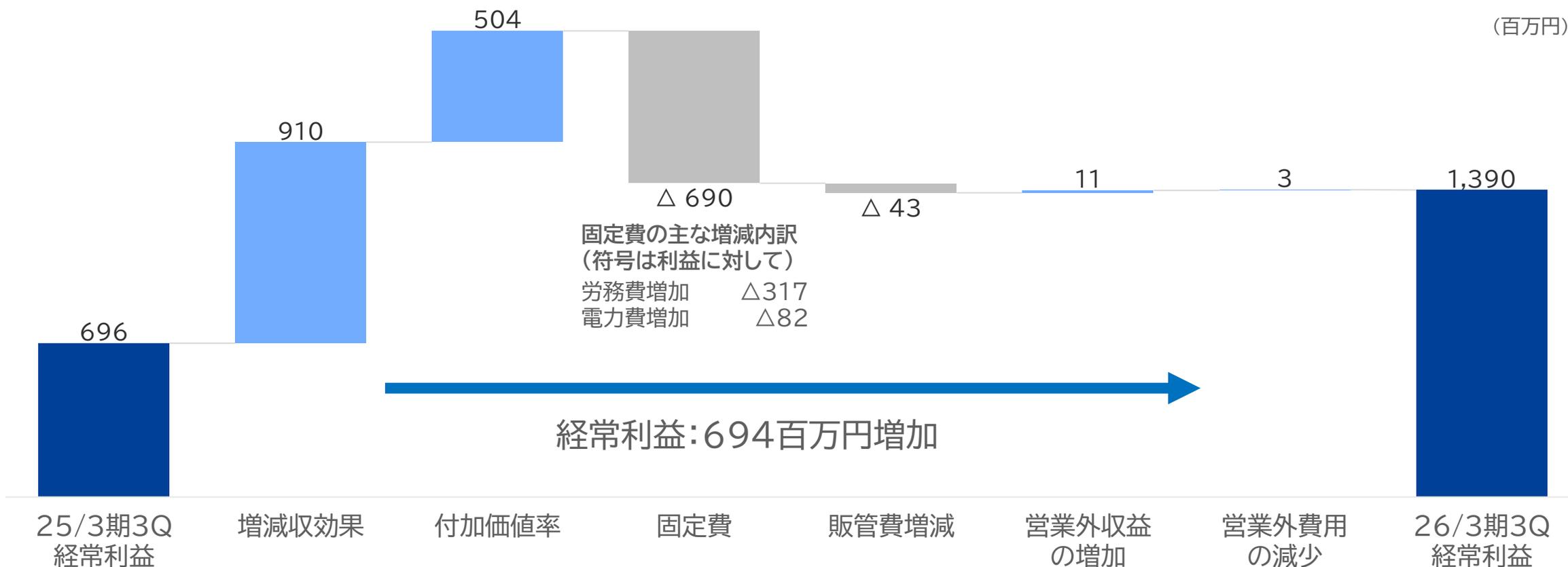
# 製品群別四半期売上高(第3四半期)

- ・ パワー半導体用リードフレームは民生・産機向けは調整局面が続くも、車載向けが緩やかに回復
- ・ オプト用リードフレームはハイエンドLED向け製品の量産が本格化し、増収傾向が持続
- ・ コネクタ用部品はスマートフォンの最新モデル向け好調、車載向け等も増加

単位:百万円	2025/3期					2026/3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	前同比 (%)	2Q比 (%)
パワー半導体用 リードフレーム	2,662	2,734	2,738	2,637	10,771	2,615	2,535	2,526	△7.7	△0.4
オプト用 リードフレーム	728	742	901	998	3,371	1,108	1,205	1,226	+36.0	+1.8
コネクタ用部品	2,959	3,248	3,114	2,763	12,085	3,264	3,621	3,832	+23.1	+5.8
その他	156	188	163	144	651	158	142	173	+6.0	+21.0
合計	6,506	6,912	6,917	6,543	26,880	7,146	7,505	7,758	+12.2	+3.4

# 経常利益増減要因(第3四半期累計)

- 増減収効果 オプト用リードフレーム、コネクタ用部品のスマートフォン向け等が増収
- 付加価値率 ①メッキの内製化による、付加価値の取り込み  
②オプト用リードフレームのハイエンド品の増加
- 固定費 ①労務費が賃上げと生産高上昇に伴い増加  
②電力費が生産量増加とメッキ工程内製化により増加



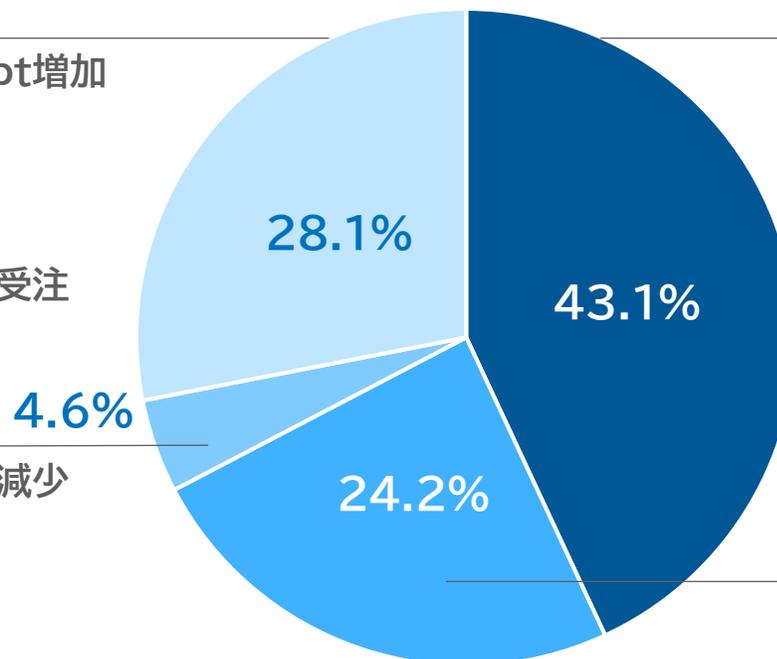
- 車載はパワー半導体用リードフレームは回復、エアバッグ向け堅調、ハイエンドLED用リードフレーム量産開始
- スマートフォン向けも新モデル中心に好調な推移
- 民生・産機・その他はハイエンドLED用リードフレームの増加傾向が続く

## 民生・産機・その他

- 構成比は前年同期の27.5%から0.6pt増加  
売上高は前年同期比13.1%増加
- LED用リードフレームはハイエンド品  
出荷開始により増加
- 新たな用途に向けたコネクタ用部品の受注  
による増加

## ウェアラブル

- 構成比は前年同期の6.1%から1.5pt減少  
売上高は前年同期比14.9%減少
- 新製品の立ち上げが進行中
- 引き続き、中期的な需要は堅調と予測



## 車載

- 構成比は前年同期の42.1%から1.0pt増加  
売上高は前年同期比13.3%増加
- xEV向けパワー半導体用リードフレームの回復
- ハイエンドLED用リードフレームの量産が本格化
- エアバッグ向けコネクタ等は好調を維持し増加

## スマートフォン

- 構成比は前年同期の24.3%から0.1pt減少  
売上高は前年同期比10.4%増加
- スマートフォン向けコネクタ用部品の好調

## (2) 2026年3月期業績予想



# 業績予想(上方修正)

- 売上高・利益とも期初計画を上方修正、営業利益は前期比2.6倍に修正
- オプト用リードフレームのハイエンドLED向けが期初の想定よりも急速に増加
- 製造工程の自動化等による改善や、メッキ工程内製化の効果も想定以上
- 懸念された、米国の関税政策による通期業績への影響は、現時点においてほとんどなし

単位:百万円	2024/3期		2025/3期		2026/3期 期初予想		2026/3期 修正予想		期比較
	実績	売上比(%)	実績	売上比(%)	予想	売上比(%)	予想	売上比(%)	前期比(%)
売上高	25,244	100.0	26,880	100.0	27,000	100.0	30,000	100.0	+11.6
売上総利益	2,654	10.5	3,147	11.7	3,600	13.3	4,200	14.0	+33.5
販管費	2,494	9.9	2,528	9.4	2,600	9.6	2,600	8.7	+2.8
営業利益	160	0.6	618	2.3	1,000	3.7	1,600	5.3	+158.6
経常利益	291	1.2	669	2.5	1,050	3.9	1,700	5.7	+154.0
当期純利益	121	0.5	447	1.7	700	2.6	1,150	3.8	+156.7
1株当たり 当期純利益	18.16円	-	68.51円	-	107.07円	-	178.56円	-	-
配当金	70.0円	-	71.0円	-	71.0円	-	75.0円	-	-

- ・ パワー半導体向けリードフレームは中国の民生・産業機器向けが調整継続も、車載向けで回復の兆し
- ・ オプト用リードフレームはハイエンドLED向けの量産が順次開始、増収の速度が期初予想を上回る
- ・ コネクタ用部品はスマートフォン向け最新モデル好調継続、車載向けの堅調に加え、新たな製品の出荷も想定以上

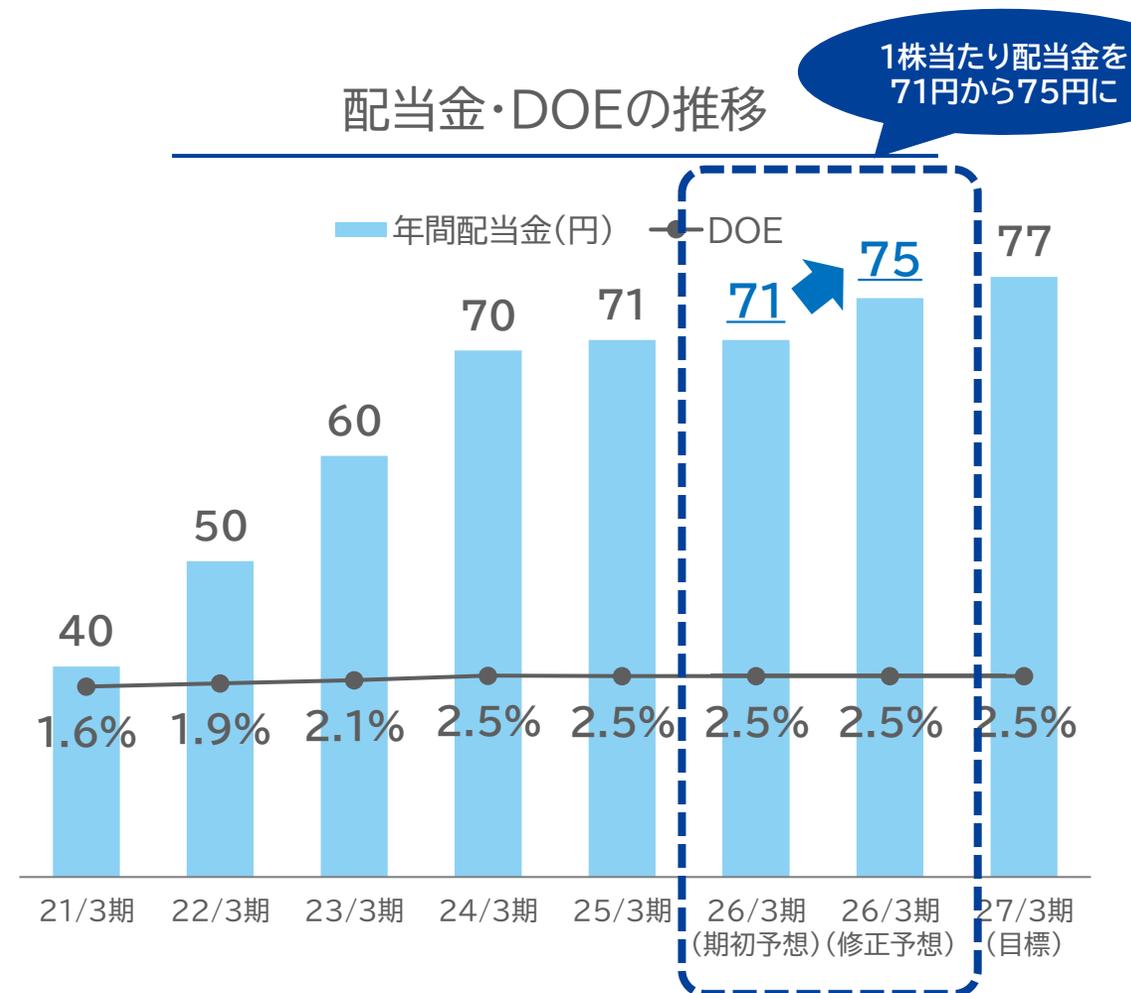
単位:百万円	2025/3期		2026/3期 期初予想		2026/3期 修正予想		前期比(%)
	実績	構成比(%)	予想	構成比(%)	予想	構成比(%)	
パワー半導体用 リードフレーム	10,771	40.1	10,000	37.0	<b>10,500</b>	<b>35.0</b>	△2.5
オプト用 リードフレーム	3,371	12.5	4,300	15.9	<b>4,900</b>	<b>16.3</b>	+45.4
コネクタ用部品	12,085	45.0	12,200	45.2	<b>14,000</b>	<b>46.7</b>	+15.8
その他	651	2.4	500	1.9	<b>600</b>	<b>2.0</b>	△7.9
合計	26,880	100.0	27,000	100.0	<b>30,000</b>	<b>100.0</b>	+11.6

- 2023年5月に配当方針をDOE2.5%以上に変更、2026年3月期もDOE2.5%以上となる配当を継続
- 期初計画及び前期を上回る利益を確保できるものと判断し、当期の1株当たり配当金を71円から75円に修正

## 2024年3月期以降の配当方針

- DOE\*2.5%以上を配当の数値基準とする
- 中期経営計画「2nd STEP」でも、最適な自己資本水準や短期的な利益増加の反映方法を総合的に勘案しつつ、増配トレンドを継続する
- 2026年3月期は75円配当を予定 (DOE2.5%)

\* DOE(自己資本配当率) = 年間配当額 / 株主資本



## 注意事項

事業の展望、業績予想等の将来の動向にかかる記載につきましては、歴史的事実ではないため、不確定な要素を含んでおります。

現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があることをご了承願います。